

第22回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成22年2月

応募者名:東京都 建設局

事業の名称:台東歩行者専用道第3号線

(上野中央通り地下歩道)整備事業

実施都市名:東京都 台東区

事業目的

上野地区は、浅草地区と併せ東京の副都心として位置づけられており、既存の商業集積や観光・文化施設を活かしながら、業務、商業、文化、観光、レクリエーション施設等の立地を備えた新しい街への更なる発展が期待されている。

また、JR、京成電鉄、東京メトロ銀座線、日比谷線及び都営地下鉄大江戸線などの鉄道路線の結節点であり、また、上野公園や美術館といった文化施設も多いことから歩行者ネットワークの充実を図る必要があった。

台東歩行者専用道路第3号線(上野中央通り地下歩道)の整備により、8駅を結ぶ地下歩道ネットワークを形成し、歩行者の利便性の向上を図り、上野地区のより一層の発展に寄与することを目的とした。

事業概要

事業名: 台東歩行者専用道路第3号線(上野中央通り地下歩道)整備事業

路線名: 台東歩行者専用道路第3号線

事業箇所: 台東区上野二丁目、四丁目地内

事業延長: 約320m

幅員: 6~10m(内空)

総事業費: 約107億円

事業期間: 平成12年度~平成20年度

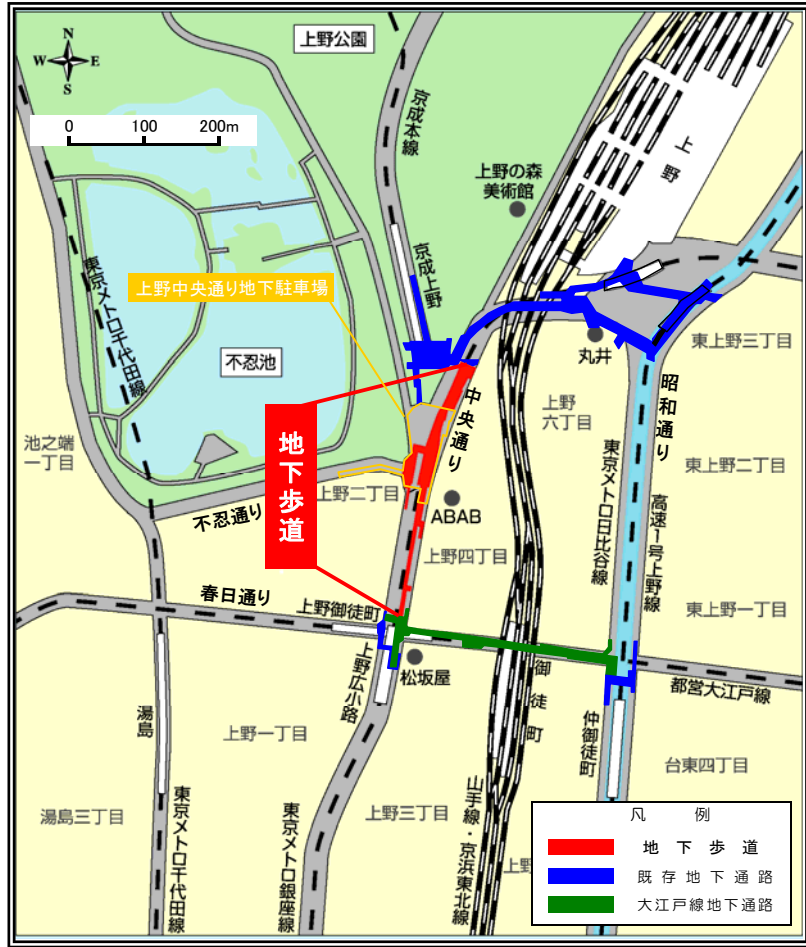
本事業は、上野地区の都道中央通りの地下に、既存の京成上野通路と都営大江戸線の通路を接続する地下歩道を新設するものである。

本施設は、幅員約6~10m、延長約320mで、途中3箇所の地上出入口とバリアフリー施設としてエレベーター2基、エスカレーター8基を設置した。

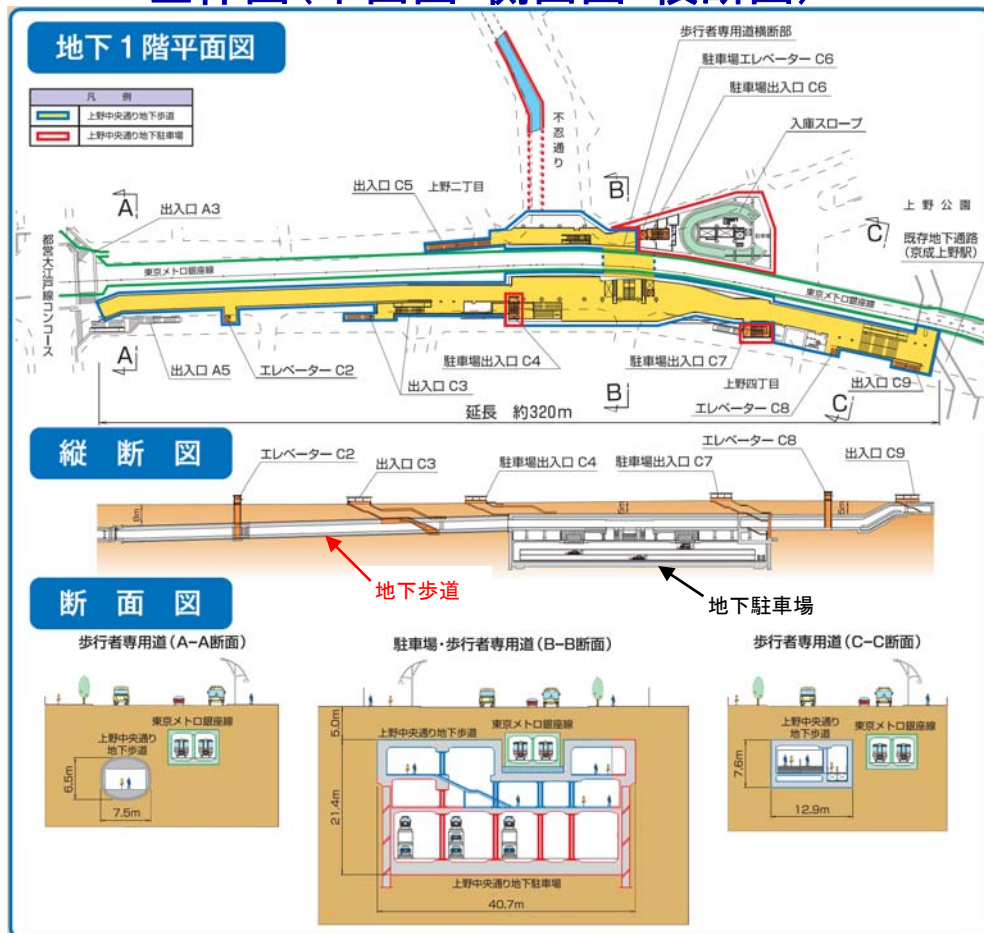
本地下歩道の整備により、JR・地下鉄上野駅(日比谷線、銀座線)、京成上野駅、上野御徒町駅、上野広小路駅、御徒町駅、仲御徒町駅の8駅を結ぶ地下歩道ネットワークを形成し、歩行者の利便性向上を図った。

また、同時に台東区において地下駐車場の整備するとともに、中央通りの地上部は東京都のシンボルロード事業として整備を行い、路上駐車車の減少と道路交通の円滑化、来街者の利便性向上などにより、地域の活性化を図った。

事業位置図



全体図(平面図・側面図・横断面図)



台東歩行者専用道第3号線の 整備効果アピール資料



既存の鉄道施設や地下通路を結び、地下歩道ネットワークを形成



○事業概要

事業名：台東歩行者専用道路第3号線(上野中央通り地下歩道)整備事業
 路線名：台東歩行者専用道路第3号線
 事業箇所：台東区上野二丁目、四丁目地内
 事業延長：約320m
 幅員：6～10m(内空)
 総事業費：約107億円
 事業期間：平成12年度～平成20年度

「整備効果」

・JR①・地下鉄(日比谷線②、銀座線③)上野駅、京成上野駅④、上野御徒町駅⑤、上野広小路駅⑥、御徒町駅⑦、仲御徒町駅⑧の8駅を結ぶ地下歩道ネットワークの形成により、交通結節点が強化され歩行者の利便性が向上した。

[※丸数字は駅の数=合計8駅]

・エレベーターとエスカレーターを整備することで、バリアフリー化された歩行者動線が確保され、移動の円滑化と回遊性が向上した。

「その他の事業効果」

・地下駐車場整備や地上部道路のシンボルロード化との複合的な効果によって、路上駐車との減少と道路交通の円滑化、来街者の利便性が向上し、上野地区のより一層の活性化に寄与した。

事業前写真

上野中央通り 全景



平成12年頃撮影



平成18年5月撮影

事業後写真

台東歩行者専用道第3号線(上野中央通り地下歩道)



平成22年2月撮影

上野中央通り全景



平成22年2月撮影

地上歩道部



平成22年2月撮影